



鶺鴒のヨシ原に、 新名神高速道路建設で 雅楽の音色、消滅の危機

鶺鴒ヨシ原研究所
所長 小山弘道

2013年 1月10日
新名神高速道路 鶺鴒ヨシ原の環境保全
に関する検討会(第1回)



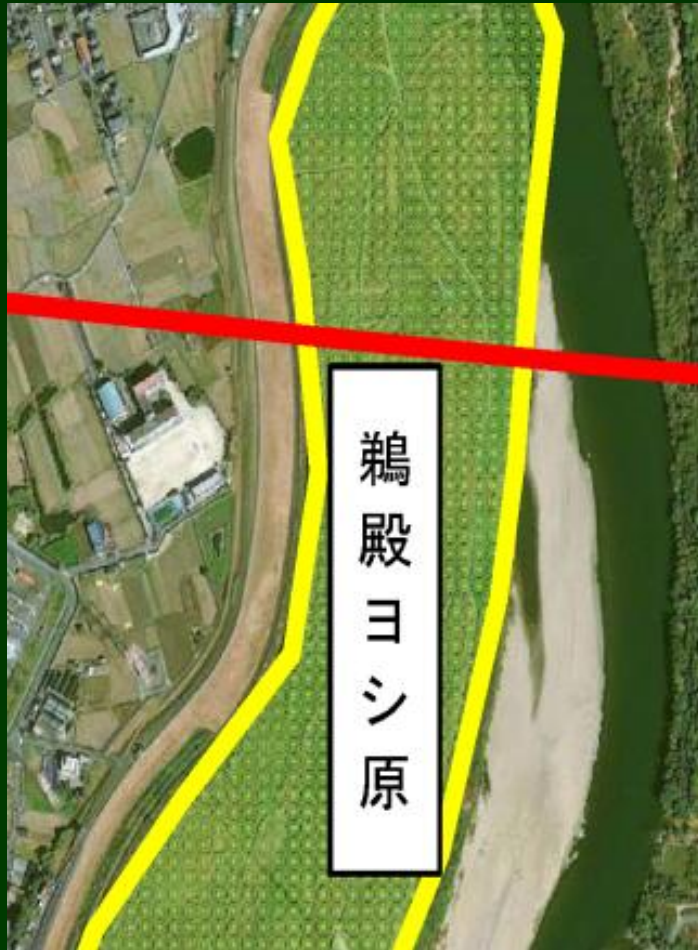
1. 箆策(ひちりき)用ヨシ

- (1) 鶺鴒殿のヨシ原が、唯一の生育地
- (2) ひちりき用ヨシは、最上級品質のヨシ
- (3) 鶺鴒殿のヨシ原でも、生育地は一部に限定される

「世界無形文化遺産」雅楽を支える、鶺鴒殿ヨシ原

2. 道路建設の問題点

(1) ひちりき用ヨシの生育地を破壊する。理由は、



① 建設予定地が
筆策ヨシ生育地に
重なる。

橋脚建設、地盤固め、
自然環境条件の変化、
ヨシの生育に大打撃！

図. 新名神高速道路 と 鶺殿ヨシ原 (一部)

提供: 西日本高速道路(株)

2.道路建設の問題点

(1) ひちりき用ヨシの生育地を破壊する。理由は、

② 工事用地(現場、資材置場、車両旋回など)が
広大な面積で、ひちりきヨシ生育地に重なる

2. 道路建設の問題点

(1) ひちりき用ヨシの生育地を破壊する。理由は、

③ 工事中道路が現在の管理用道路を拡幅すると、
籐策ヨシ生育地が道路になり、生育地が消滅する

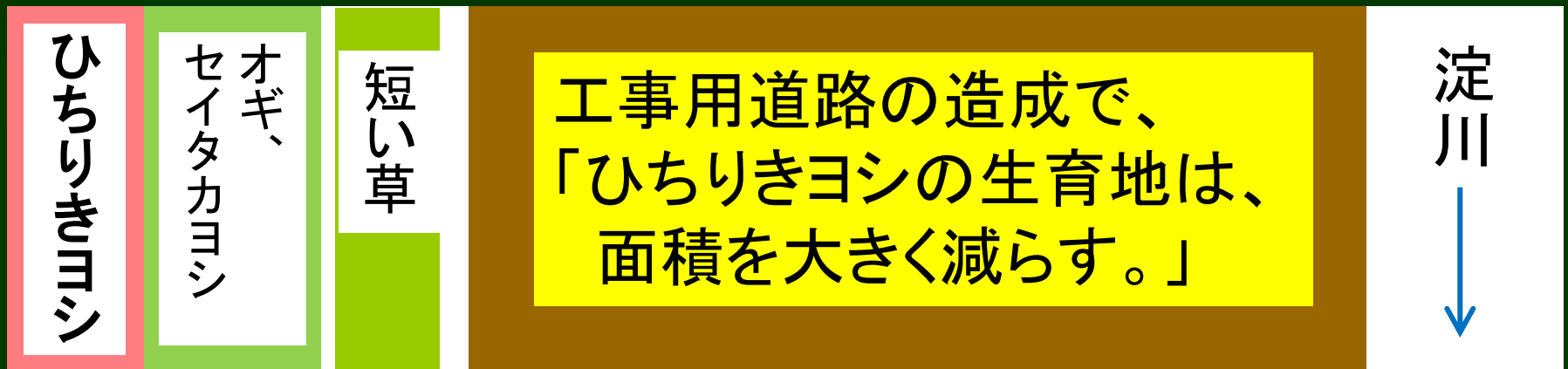


図. 現在の道路と植生

2.③ 筆策ヨシ生育地側へ道路拡幅、生育地が消滅。



現在の鶉殿の工事道路の幅は約8m、イメージとして



3. 鶉殿は破壊、ヨシや雅楽の消滅危機

1 ヨシは地下茎を広げ育つ。クローンの可能性

2 地下一2m深に、柔らかか栄養豊かな土が必要

3 地下一2m深に、地下水が成長期必要、冬乾燥

4 ひちりきヨシ 未調査、施策行われていない

5 唯一の生育、育成地。自然と人間が守った

4.ヨシの生育には土と水が重要、未だ調査無し

(1) 地下茎

(2) 土壌

(3) 地中の水

(4) ひちりき用ヨシの生育地の
土壌や水分の調査は
行われていない



5. 鶺鴒殿ヨシ原研究所とは

目的:「鶺鴒殿(うどの)」の自然と生き物を守り、
ヨシ原が人の暮らしと繋がるよう、
「世界無形文化遺産(雅楽)を支える」、
鶺鴒殿の様々な価値を高めること。

- ・私は1975年～調査、研究、ボランティアと保全活動
- ・2000年～雅楽団体と演奏会や講座を開催

参加者:研究者(所長)と市民が活動を行う団体です。

- ・小山弘道、鶺鴒殿ヨシ原研究所、鶺鴒殿クラブの活動は、
パンフレット「鶺鴒殿を遊ぶ」にてご覧ください

6. 鶺鴒殿ヨシ原研究所 活動の内容

- ①ヨシや生き物の調査や観察会
- ②ヨシ原を育てる（草抜きや刈り取り、揚水継続）
- ③雅楽楽器、ひちりき用ヨシが育つ環境保全
- ④新たな利用の試作や実現
「ヨシ紙やヨシの箸は実現、燃料を試作」
- ⑤雅楽コンサート、展示会、ヨシ工作教室等

参加者の

「なんか面白そう！ やってみたい！ できそう！」
が活動を豊かにしています。

7.

1. 鶺鴒殿は生き物に当てにされている、暮らしの場
2. 鶺鴒殿は悠久の昔から私達に様々な恵みを与えた。私達の行いが、鶺鴒殿の、子孫の未来につながる。
3. 鶺鴒殿は、何としても守らないといけない場所。生物が文化が、被害を受けることは明白だから。



写真 地元小学生はヨシ刈り体験、遠方からは観察会に参加

8. 鶺殿を育てる 「ヨシを刈って集めて使う」

1～2月「ヨシ刈り集め」参加者を募集中です



鶺殿ヨシ原研究所

鶺殿ヨシ原研究所（所長 小山弘道）

- ・ 〒569-0011 大阪府高槻市道鶺町4-12-5
- ・ 電話：090-3991-1646
- ・ FAX：072-891-4751
- ・ ウェブ：<http://www.udono-yoshihara.com/>